



見附小学校

生活指導だより

生活指導部
令和6年6月7日

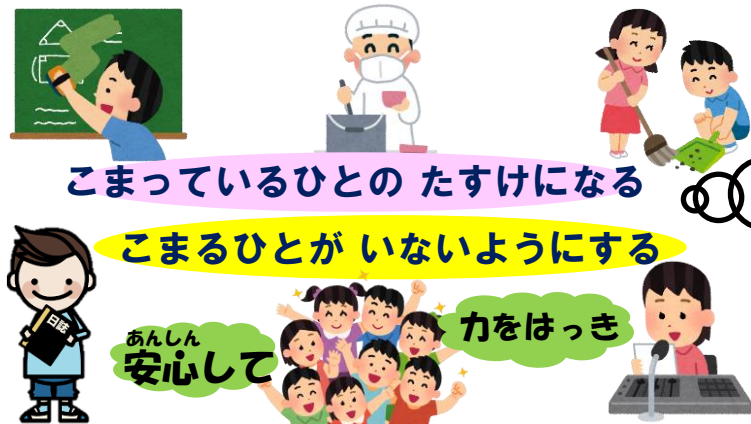
6、7月の生活目標

みんなの役に立つことをしよう

目指す学級像を子どもたちと担任で共有した4、5月。6、7月は、「学級の中で一人一人が安心して力を発揮したり、互いの頑張りを賞賛し合ったりする風土づくり」を目指していきます。

生活朝会では、「仲間のために、一人一人が自分にできることをするチームはカッコいい」ということを子どもたちに伝えました。その具体として「困っている人を助ける」、「困っている人がいないようにする」、「仲間の頑張りに感謝や賞賛の気持ちを伝える」という3つのポイントを伝えました。

子どもたちは、学級や学校の中で様々な役割を担っています。給食当番、日直、係活動、委員会の当番などです。子どもたちにとってみれば、「やらねばならぬこと」かもしれません。しかし、どれも集団生活の中では欠かせない役割であり、誰かを支えています。自分の役割や自分にできることにやりがいをもって取り組んだり、みんなのために頑張ってくれる仲間を賞賛したりする風土をつくることを通して、学級への帰属意識をさらに高め、今後も安心して挑戦したり、仲間と協働したりしていきける集団づくりを目指していきます。



生活朝会が終わると、整列位置を示すコーンを集めてくれた子がいて、「早速役に立つことをしてみました！」と嬉しそうな表情を見せてくれました。また、廊下に落ちているごみを拾って捨ててくれた子もいました。

生命(いのち)の安全教育を実施します

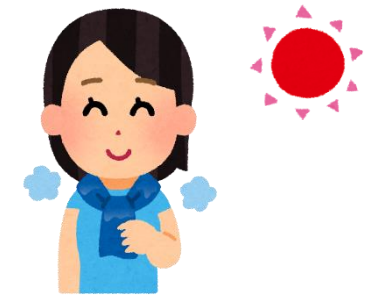
令和2年6月に政府の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」において決定された「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえて、子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において「生命の安全教育」を推進することになりました。

見附小学校においても、子どもたちを性暴力の当事者にしないために「生命の安全教育」を行い、生命の尊さを学び生命を大切に育てる教育、自分や相手、一人一人を尊重する教育を実施しています。

プール授業が始まる6月は、低中学年は自分や友達の大切なところ（プライベートゾーン）について確認したり、いやな気持ちになった時はどのようにしたらよいかを考えたりします。高学年は、プライベートゾーンの確認に加え、心と体の距離感やSNS上の見えない相手とのやりとりの危険性なども学びます。



お知らせとお願い



熱中症を防ぐために

熱中症の危険が高まる時期となりました。子どもは体温の調節能力が十分に発達していないため、特に気を配る必要があります。学校では、教室の室温管理、WBGT 値を参考にした諸活動に関する注意喚起等の対策を講じていきます。

登下校中の体調の変化も心配です。そこで、熱中症予防として、ご家庭でも次の点のご協力をお願いいたします。

- ・登校前の健康観察
- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服の着用
- ・必要に応じて、帽子、冷感タオル、クールリング、日傘などの対策グッズの活用
※基本的に登下校、屋外活動時や活動後での使用とします。
- ・水分の準備
※糖分の摂取量に配慮し、中身は水かお茶でお願いします。
※行事等、スポーツドリンクを推奨する場合は、別途お知らせいたします。

水筒を持ち歩く際の注意事項について指導しました！

転倒した際に、首や肩にかけていた水筒がお腹に当たり、内臓を損傷する等といった思わぬ事故が全国で発生していることを受けて、学校では子どもたちに次のように指導、注意喚起を行いました。事故の未然防止に向けて、ご家庭でもご承知おきください。

- ・ランドセルの中身に余裕があるときは、水筒をランドセルに入れましょう。
- ・水筒を首や肩にかけているときは走らないようにしましょう。
また、転ばないように注意して歩きましょう。
- ・遊具等で遊ぶ際は、水筒を置いて遊ぶようにしましょう。



消費者庁HP

